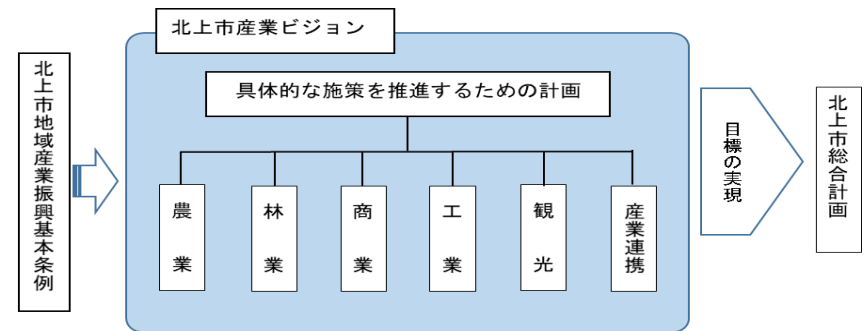


北上市産業ビジョン（見直し）の策定について（概要）

1 策定の趣旨と位置付け

P8～

- ・北上市地域産業振興基本条例第4条第1項に基づき、地域の持続的な発展と魅力ある地域産業の振興のため策定
- ・総合計画の基本目標を達成するため「農業」「林業」「商業」「工業」「観光」及び「産業連携」の各分野の方針と具体的な取組を記載
- ・計画期間は令和3年度～令和12年度の10年間。進捗状況、成果、社会経済情勢の変化を捉え、中間年(令和7年度)に見直しを実施



2 北上市の状況

P10～

【見直し】統計値更新、社会経済情勢の捉え直し

○北上市の概要

- ・位置、地勢、気候、交通、土地利用、人口

○北上市の産業の概要

- ・企業誘致による工業振興で東北有数の工業集積都市に成長
- ・大手半導体生産拠点の立地・操業により関連産業の集積が予想される
- ・多くの雇用の場が生まれているが、求人数が求職者数を上回る状況が継続

○産業をとりまく社会経済情勢（P21～）

- 1 少子高齢化による生産年齢人口減少の深刻化
- 2 脱炭素化と産業競争力向上の同時実現（GXの推進）
- 3 Society5.0の推進
- 4 農業生産活動を取り巻く環境への対応【新規】
- 5 コロナ禍を経た社会経済活動の再開
- 6 成長型の新たな経済ステージへの移行【新規】
- 7 海外の社会情勢等による日本経済への影響

3 北上市の産業の現状と課題

P25～

【見直し】全体・各産業分野の現状と課題の洗い直し

1 生産年齢人口が減少する中での人材の確保

現状：高い有効求人倍率、産業の維持と継承の懸念
課題：多様な人材の採用、魅力ある職場作り、省人化・省力化

2 脱炭素化と産業競争力向上の同時実現

現状：脱炭素、GXの動きが企業・農業者に求められる
課題：新たな技術の積極的導入への支援、環境負荷低減と経済成長の両立した活動の維持

3 デジタル技術の活用による経済成長

現状：デジタル化が進まない事業者・農業者の存在
課題：最新技術に対応する人材育成、効率的な生産活動の維持

4 コロナ禍を経た社会経済活動の力強い回復

現状：インバウンド需要の期間・エリアの限定、市内再開
課題：農業・観光要素の付加価値向上、物価高騰等への対策

5 半導体関連産業等の集積への対応

現状：人材育成、いわて半導体関連人材育成施設開設
課題：半導体産業ほか、さらなる企業集積への対応

各産業分野における課題

【農業】P54～

- 収益性の高い農業の実現、将来の担い手の確保 など

【林業】P87～

- 木材価格下落による森林の劣化、林野火災への対応 など

【商業】P114～

- 消費の多様化や物価高騰に応じた商業環境の確保 など

【工業】P134～

- 環境変化へ対応する企業の支援、人材の定着・育成・確保 など

【観光】P151～

- コロナ禍を経た観光需要への対応、地域資源の磨き上げ など

【産業連携】P163～

- 地域資源の横断的な活用による新たな付加価値創出、支援機関の連携による体制の強化

【見直し】成果指標（市内総生産）の目標値を変更

○産業振興の基本目標

『挑戦する心を原動力とした力強い地域経済の創出』

「北上市総合計画2021～2030」に掲げる4つの基本目標から、上記を産業振興の基本目標とし、地域資源に対する付加価値の向上、人材の確保と育成、新たな技術の導入などによる生産性の向上、そして産業間の連携による新たな魅力づくりにより、地域産業を持続的に発展させていくための施策を展開する。

○産業振興の基本方針

北上市地域産業振興基本条例で定める5つの方針により推進する。

1 地域産業の基盤強化

地域産業の稼ぐ力の向上、持続的な成長に不可欠となる産業基盤の強化に取り組む。

2 地域資源の発掘、収集及び積極的な活用

美しい自然、安全・安心な農畜産物、豊富な水資源や森林資源、誘致企業の集積、地場中小企業の技術など発掘、収集、活用する。

3 地域産業を担う人材の育成及び活用

今後生産年齢人口の減少が見込まれる中、地域の産業の継続的な発展を担う人材を確保するため、人材の育成や定着に取り組む。

4 産業の枠を超えた交流及び連携

農林業や商工業、観光など地域の特色ある資源を活かした産業間の連携を促進し、新たな魅力づくりに取り組む。

5 地域資源の魅力づくり及び発信の継続的な取組の展開

地域資源に愛着を持ち磨き上げ、発信することにより新たな交流人口の創出や産業の進出を目指す。

○成果指標(P29)

指 標	現状値	目 標	
	令和2年 (2018年実績)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)
市内総生産	4,423億円	4,700億円	5,600億円

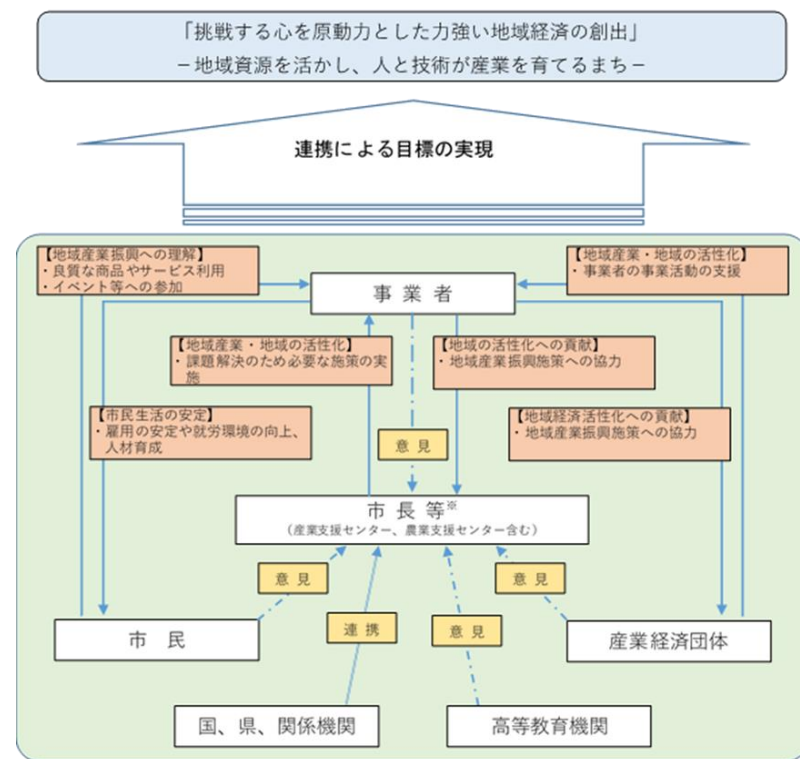
(岩手県市町村民経済計算年報)

【見直し】各個別計画ごとに見直し（現状と課題、方針、具体的な取り組み、成果指標）

産業振興の基本目標を達成させるため、「農業」「林業」「商業」「工業」「観光」及び「産業連携」の各部門ごとに計画を策定し、各計画内で具体的な取り組みを記載。

6 計画の推進体制等

市民、市内事業者、産業経済団体、市長等がそれぞれの役割を担うとともに、それぞれの強みを生かした連携を図り、本ビジョンを推進する。



北上市産業連携推進会議及び各部門別の審議会、検討委員会において進捗状況を確認、検証する。